

# 関西若手勉強会

## 2021年度も定期的に

第1回は金穂香さんが講演  
「光受容タンパク質PYPのシグナル伝達機構：  
共通のタンパク質が示す多彩な光反応」



2021年度第1回関西若手勉強会は6月26日 Zoomにてオンラインで開催。化学、生物、工学など多岐にわたる専門分野の若手研究者が7名参加しました。

京都大学大学院理学研究科の博士後期課程学生・金穂香さんが「光受容タンパク質

PYPのシグナル伝達機構：共通のタンパク質が示す多彩な光反応」と題して、光受容タンパク質のダイナミクスを独自の切り口で解析して得られた新たな知見を研究結果をもとに講演。質疑応答も含めて約1時間半の活発な議論がなされました。

# 関西若手勉強会

## 2021年度第2回

李太起さんが講演  
「Layer-by-layer法による  
CdTeナノ粒子超格子の作製と新規光物性の解明」



2021年度第2回関西若手勉強会は9月18日 Zoomにてオンラインで開催。物理、化学、生物、工学など多岐にわたる専門分野の若手研究者が6名参加しました。

大阪市立大学大学院工学研究科の博士後期課程学生・李太起さんが「Layer-by-layer

法によるCdTeナノ粒子超格子の作製と新規光物性の解明」と題して、半導体ナノ粒子超格子の独自の作製法とその特徴について研究結果をもとに講演。質疑応答も含めて約1時間半の活発な議論がなされました。

# 関西若手勉強会 2021年度第3回

白凜さんが講演  
「語られてこなかった美術史—1950年代の在日朝鮮人美術史」



2021年度第3回関西若手勉強会は2022年2月19日Zoomにてオンラインで開催。様々なバックグラウンドを持つ参加者が10名以上集まる会となりました。独立行政法人日本学術振興会特別研究員PD、一般社団法人在日コリアン美術作品保存協会代表理事である白凜さんが「語られてこなかった美

術史—1950年代の在日朝鮮人美術史」と題して、これまで分析が手薄であった1950年代の在日朝鮮人美術史について、自身の聞き取り調査に基づく研究結果を講演。質疑応答も含めて約2時間半の活発な議論がなされました。